

衛生委員会だより 2024年12月

～マイコプラズマ肺炎～



マイコプラズマ肺炎…

風邪に似た症状で早期に気が付きにくい感染症で冬場に増える傾向があり、風邪に似た症状のため、自分では早期に気が付きにくい感染症です。マイコプラズマに乳幼児が感染した場合は風邪程度で済むことが多いのですが、小学生以上の学童期頃や大人が感染した場合に、肺炎にまで重症化しやすい病気

◆特徴・原因◆

長引く咳が特徴。感染症のため、人から人へ、咳、痰、唾などで飛沫感染します

感染から発症までの潜伏期間は1～3週間ぐらいで、4週間に及ぶこともあります。非常に幅があります。そのためいつ感染したのか原因がわからず、いつの間にか感染していることがあります

◆予防法・対策法◆

人混みを避けて、十分な睡眠と栄養・うがい・手洗いをしましょう。

また、一度罹っても一生免疫力がつくわけではなく、何度も感染することがあります。

マイコプラズマ肺炎は、どの時点で感染の恐れがなくなると言えるのかが判りにくい病気です。そのため、インフルエンザのように明確な出席停止期間がありません。

ただし、マイコプラズマと診断された場合、可能な範囲で、発熱時や咳がひどい時には欠勤する方が良いと思われます。